

Title	福沢書簡の新資料(明治二十五年三月十九日付,花井万吉宛)
Sub Title	
Author	会田, 倉吉(Aida, Kurakichi)
Publisher	三田史学会
Publication year	1970
Jtitle	史学 (The historical science). Vol.42, No.4 (1970. 3) ,p.80(446)- 80(446)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	余白録
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19700300-0080

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

福沢書簡の新資料

(明治二十五年三月十九日付、

花井万吉宛)

昭和四十三年一月二十三日のこと、慶応義塾の評議員神野太郎氏から福沢諭吉の新資料書簡一通のゼロックス複写が塾史編纂所に寄せられた。左に、全文を紹介する。

なお、文中の「写真一葉」は和服姿の上半身像で、この書簡といっしょに扁額に仕立てられ、はじめに写真、ついで本文、おわりに封筒が添えられているという。

また、神野氏のはなしによると、宛名の花井万吉は福沢家の書生をしていたものとのことである。(会田倉吉)

本月十六日ノ御手紙到来致拜見候近日ハ別して御病苦之よし誠ニ驚人候次第来書中縷々之御陳情深く御察申上候人生免かるへからざるものハ病なり何卒御加養専一被成度但し医薬之手当を怠らざる傍ニ又病を軽んじ餘り之を氣に留めざるやう致し病中ながらも心事を洒

落ニして御清光被成度養生之一大緊要事と存候老生などハ今年五十九歳ニ成常ニ撰生致し居候得共随分荒仕事も致し身体ハ餘リ大切ニ不致候是亦唯今まで達者に罷在る一原因と存候写真一葉差上候御覽被下度追々春暄にも相成必す御全快可相成其中ニハ御出京之節御目ニ掛度存候右御返詞まで匆匆如此御座候頓首

二十五年

三月十九日

諭吉

花井万吉様 梧下

東京三田二丁目
福沢諭吉
三河国渥美郡
泉村大字村松
花井猪吉殿内
花井万吉殿

(スタンプ「武蔵東京三田ノ廿五年三月十九日ノチ便」「三河江比間ノ廿五年三月二十一日ノ口便」)